

2010年 7月号
通巻102号

発行所

岩手県盛岡市中央通3丁目8-16

電話019-651-0810

FAX019-653-1057

岩手県同胞生活相談総合センター

ハナ



ブラジル戦でゴールを狙う鄭大世選手

毎月25日発行 0円 同胞生活情報誌 ハナ korea-iwate@ictnet.ne.jp

2010W杯鄭大世選手がアシスト、ブラジルから1点取る

朝鮮代表は16日、ヨハネスブルグのエリスパークスタジアムでグループリーグ初戦、ブラジルと対戦。1-2で敗れた。安英学、鄭大世選手はともにフル出場を果たした。サッカーW杯の舞台に民族教育を受けた同胞選手が立つのは初めて。鄭選手はアシストも決めた。朝鮮は、堅い守備で得点を許さず前半を0-0で折り返したが、後半10、27分に失点。44分に1点を返したが惜しくも1-2で敗れた。



同胞祖国訪問ツアー募集のご案内

2012年を目指して躍進著しい祖国を直接肌で感じる機会にはいかがですか。親戚訪問、大マスゲーム『アリラン』公演も予定します。

期間:8月24日~9月2日(成田1泊、朝鮮7泊、瀋陽1泊)

航路:成田-瀋陽-平壤(往復)

費用:約26万円(往復航空券代、盛岡-成田運賃、祖国滞在費、旅券・ビザ代、諸費用込み)

連絡先:同胞生活相談センター

TEL019-651-0810 担当 姜元鎮

募集締め切り:7月15日(木)

東北朝鮮初中級学校 運動会

6月6日、東北ハッキョの運動会が開催されました。

好天に恵まれ、学生たちは練習の成果を存分に発揮し力いっぱい走り、そして演じていました。

終了後は学生、父母、同胞一緒に「大焼肉パーティ」で大いに盛り上がりました。

子供たちの姿に元気をもらった一日でした。



2010年W杯朝鮮代表がんばれ！ポルトガル戦、パブリックビューイングの開催

6月21日、朝青トンムたちの企画で朝鮮対ポルトガルの一戦を同胞が集まって声援を送ろうとパブリックビューイングが開催された。ブラジル戦の善戦を受けて勝利への期待を胸にこの日集まった30数名の同胞たちは朝鮮代表へ熱い応援を送った。44年前の1966年大会の準々決勝で3-5で敗れた因縁の相手。結果は0-7と記録的な大敗となりましたが世界のひのき舞台でランキング3位の相手に最後まであきらめずゴールを目指した姿は立派でした。在日同胞リーガーたち安英学、鄭大世もがんばりました。次戦のコートジボワール戦で二人のゴールが見たいものです。



時事コラム—澄んだ目

「愛国歌」を聴きながら泣いた。W杯でも国歌斉唱の時、自分の気持ちが読み取られないように無表情を装う選手がいる。目をつむり声を出さない。鄭大世選手は、祖国を称える歌をうたい感情のおもむくままに涙を流した▼その時、鄭選手は代表になるまでの道のりを思い起こしていたのだという。朝鮮学校でサッカーを始めていなければ、そのユニフォームを着ることはなかった。「愛国歌」の旋律に心を揺さぶられることもなかったろう▼世界最強といわれるブラジルとの対戦、選手たちのプレーは感動を与えてくれた。彼らの姿に祖国の歴史と在日社会の歩みを重ねた同胞も多いだろう。朝鮮半島にルーツを置き、日本に住まれ育った若者たち。朝鮮学校で学び、成長しながら朝鮮人としての誇りを身につけた。在日同胞だけに通じる物語が確かにある▼ところが広い世界を見渡せば、それは決して「閉じられた社会」ではなかった。エースストライカーの国歌斉唱に感銘を受けたのは在日同胞だけではない。世界中のサッカーファンの心を熱くした。彼は幼い頃から「祖国とともに」という言葉の意味を抽象論ではなく、ボールを追いかけて、実践の中で学んだ。だからこそ夢が叶い、W杯出場の喜びをかみしめた瞬間、自然と涙があふれたのだろう▼世界中からやってきた記者たちによって「涙」のわけを知った人々にいま熱い共感が広がっているという。心からサッカーを愛する選手のひたむきな姿は、万国共通のメッセージだ。ウリハッキョの卒業生たちが「愛国歌」を歌いながらそれを伝えていた。

—よろず掲示板—

△「県南会」

日時:6月23日(水)午後2:30～

会場:北上「板門店」

△「支部対抗ゴルフコンペ」

日時:7月14日(水)集合8:30開会式8:45スタート 9:00

場所:盛岡ハイランドCC (TEL019-659-1234)

競技方式:-個人戦ならびに団体戦

参加費:3,000円(プレー代、売店等は各自清算)

※ビジター 7,400円(食事付)

締め切り:6月30日(水)まで

連絡先:同胞生活相談センター(019-651-0810)

担当 姜元鎬

△県南地域「夏期ウリマル教室」

期間:7月29日(木)～8月4日(水)

時間:11:00～13:00

会場:北上市市民交流プラザ

(TEL0197-61-5716)

対象:6才～小学生

受講料:無料(但し昼食は準備してください。)

※詳しくは「同胞センター」にお問合せください。

△「県南会」

日時:7月21日(水)午後2:30～

会場:未定

△「8.15解放」65周年記念盛岡地域同胞の集い

日時:7月31日(土)11:30開始

場所:雫石町 葛根田地区河川公園 (石仏橋付近)

会費:2,000円(学生、子供、70歳以上の方無料)

内容:焼肉、ゲーム、すいか割りなど

締切り:8月27日(火)まで

連絡先:019-651-0810同胞生活相談センター(姜)

*県南・東部の同胞の参加を歓迎します。

『連絡事項』

①焼肉、飲物は準備します。ご飯類は各自持参の事。

②場所は盛岡より国道46号線を秋田方面へ走り、雫石バイパスのスーパー<ロッキー>を過ぎて3つ目の信号<柿木>(左側にJA-SS・ガソリンスタンド有り)を右折、約2キロで石仏橋、橋を渡りすぐ右折しながら河川敷に降りると現地。

③トイレがありません。<露天トイレ>となります。

△2010年金剛山歌劇団盛岡公演

日時:9月24日(金)午後6時30分 開演 (1回公演)

会場:盛岡市民文化ホール 大ホール

ドクター カンの健康講座



第92回 糖尿病

今回も糖尿病の話です。というのも糖尿病は非常に怖い病気だからです。そして生活習慣病といえはまず糖尿病です。前にも話しましたが10年前の1.6倍に増え日本人の6人に1人が糖尿病か糖尿病予備軍です。

しかも男女問わず40歳以上で糖尿病が強く疑われる人のうち「ほとんど治療を受けたことがない」人が約4割もいるということです。自覚症状がないため気がついた時は何らかの思い合併症、例えば失明にもなる網膜症や腎臓病、壊疽になっているのが少なくないのが現状です。

ではどうすれば糖尿病を予防できるのでしょうか。

それは血液の検査です。最近の研究から糖尿病を発症した早い段階から血糖値を適切にコントロールすれば失明や腎透析、壊疽などの合併症を防げることがわかってきました。糖尿病は一にも二にも早期発見が一番大事です。

糖尿病学会では最近診断基準を見直しました。これまでは空腹時血糖値、食事と食事の間の血糖値(随時血糖値)、ブドウ糖液を飲んだ後の血糖値のいずれかが基準値を超えると「糖尿病型」と判定し別の日の検査で再び基準を超えていれば糖尿病と診断し治療を開始していましたが今回はいままで補助的な検査であった「HbA1c」という過去1～2ヶ月前の血糖値の状態を示す検査も取り入れたことです。そしていままでと違うことは1回目の血糖値とHbA1cが基準を超えればその場で「糖尿病」と診断されます。

糖尿病の薬は沢山ありますが低血糖や食欲増加などで副作用も少なくありません。このような副作用を起こしにくくまったく新しいタイプの新薬が開発されて実用化がすぐです。

一番怖い現代病は糖尿病かもしれません。

(協力:幸クリニック院長 姜幸一先生)

金剛山歌劇団2010年盛岡公演開催決定!

今年の金剛山歌劇団公演の日程が決まりました。創立55周年を迎えた歌劇団の岩手での公演も55年目という節目の公演となります。

同胞のみなさんには広告をはじめ公演の成功のため変わらぬご協力をお願いします。

日時:9月24日(金)午後6時30分 開演

会場:盛岡市民文化ホール 大ホール

広告募集締め切り:8月20日